

令和の都だざいふ周遊促進に向けた観光拠点施設の官民連携検討調査業務に係る
 企画提案公募 審査項目・配点一覧

標記審査における審査項目及び各項目の配点は下表のとおりとする。

評価対象項目	配点
1 実施体制及び実施スケジュール <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業遂行のために必要な実施体制がとれているか。 ・ 業務実施スケジュールを適切かつ具体的に設定しているか。 	10 点
2 事業内容 <p>(1) 4 施設の有効活用に向けた基礎情報、前提条件の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本市観光行政や各施設の状況、史跡地特有の制約など本市の抱える様々な課題に対して十分な理解を有しているか。 ・ 施設の利活用の評価・分析及び課題の抽出に関する知見やノウハウを有しているか。 ・ その他、本事業に必要なデータ収集を行う知見やノウハウを有しているか。 	15 点
<p>(2) 4 施設連携に向けた施設の将来像の検討及び具体的な事業手法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の関係者との連携に関するノウハウや実施体制を有しているか。 ・ 太宰府館の民間主導の運営に関して、適切な手法の知見やノウハウを有しているか。 ・ 同種施設やスキーム等の先行事例に関する知見やノウハウを有しているか。 ・ 市場分析（サウンディング調査）に関するノウハウや実施体制を有しているか。 	25 点
<p>(3) 4 施設の有効活用に向けた最適事業手法の総合評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最適事業手法の検討においてVMF（事業手法別の市財政負担額比較）評価を導入するなど、事業性（採算性）や市財政負担に関する評価を行う知見やノウハウを有しているか。 	15 点
<p>(4) 事業化に向けたロードマップ、検討課題の整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロードマップ策定に係る各主体との調整（現在及び将来的な各主体における取組み等の取りまとめ）を円滑に進め、十分な検討がなされたロードマップを策定するノウハウ・実施体制を有しているか。 ・ 現実的に実現可能なロードマップを策定するノウハウ・実施体制を有しているか。 	20 点
3 業務実績 <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去に類似の官民連携に関する業務実績があり、経験豊富であるか。 	15 点
合計	100 点